

令和元年度 事業報告書

1. 会 員

1) 法人・団体会員

本年度入会	2 法人	大分県企業局（1 口）、株式会社フソウハイドロ パワーソリューションズ(1口)
本年度退会	なし	
口数変更	1 法人	九電テクノシステムズ株式会社（1 口減）
本年度末会員数	9 2 法人・団体	（総会議案参考資料のとおり）
本年度末口数	3 1 4 口	（総会議案参考資料のとおり）

2) 個人会員

本年度入会	5 名	
本年度退会	2 名	
本年度末会員数	9 0 名	（総会議案参考資料のとおり）

2. 役員、顧問等

1) 理 事

本年度就任	3 名	浦瀬 賢治 中村 幸一郎 長榮 周作
本年度退任	3 名	織戸 浩一 薦田 康久 柵山 正樹
本年度末人数	1 4 名	（総会議案参考資料のとおり）

2) 監 事

本年度就任	0 名	
本年度退任	0 名	
本年度末人数	2 名	（総会議案参考資料のとおり）

3) 顧 問

本年度就任	1 名	薦田 康久
本年度退任	0 名	
本年度末人数	5 名	（総会議案参考資料のとおり）

4) 幹 事

本年度就任	3名	饗場 潔 中澤 孝彦 藤岡 直人
本年度退任	3名	相良 秀晃 竹島 尚弘 牧 光一
本年度末人数	4名	(総会議案参考資料のとおり)

3. 会 議

1) 総 会

本年度開催回数	2回	第80回通常総会を令和元年5月30日に開催 第1回臨時総会を令和元年7月24日に開催
---------	----	---

2) 理 事 会

本年度開催回数	9回	第709回～第717回
---------	----	-------------

4. 定 款

平成24年4月1日一般社団法人電気協同研究会の定款登記

5. 専 門 委 員 会

1) 委 員 会

本年度終了 3 委員会

- ① 地中送電設備の耐震設計技術専門委員会
- ② 架空送電設備の劣化対応技術調査専門委員会
- ③ 電力用光通信ネットワーク技術専門委員会

昨年度から継続中 1 委員会

- ① 変電設備の保全高度化とアセットマネジメント専門委員会

本年度設置 3 委員会

- ① 水力発電所機器専門委員会 (水力発電所主要機器購入仕様標準)
- ② 電力系統を取り巻く環境変化がもたらす系統安定化システムの課題と対応専門委員会
- ③ 自然災害時の配電設備における復旧対応の高度化専門委員会

2) 委 員 数

専門委員会	265名
幹事会・作業会等	420名

3) 会議開催回数

専門委員会	11回
幹事会・作業会等	100回

6. 研究討論会

テーマ 「2050年における低炭素社会の展望と電力グリッドの役割」

開催日時 令和元年11月7日(木) 13時00分～17時00分

場所 電気の史料館 ミュージアムホール

(神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町4丁目1番地)

司 会	アクセンチュア(株) マネジング・ディレクター	伊藤 剛 氏
基調講演	東京大学 新領域創成科学研究科 准教授	馬場 旬平 氏
講 演	アクセンチュア(株) マネジング・ディレクター	伊藤 剛 氏
	(一社)日本電機工業会 HEMS 専門委員会 VPP 分科会 主査	北川 晃一 氏
	(公財)地球環境産業技術研究機構 副主席研究員	出口 哲也 氏
	東京電力ホールディングス(株) 技術戦略担当	馬橋 義美津 氏

パネルディスカッション

テーマ：低炭素社会における需給の変化をふまえた電力グリッドの課題と対応

コーディネーター：伊藤 剛 氏

パネラー：各講演者

参加者 194名（うち有料入場者：162名）

討論会概要

国連気候変動枠組み条約締約国会議において、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みが合意され（パリ協定）、温室効果ガス排出削減に向けた取り組みが動き出している。

日本国内のエネルギー政策としては、パリ協定や取り巻く情勢変化を見据え、2030年・2050年に向けた基本計画が示されており、再生可能エネルギー、蓄電、水素など、あらゆる低炭素化技術の実現が期待されている。

これまで低炭素化の実現に向けた取り組みとして、電源の低炭素化に向けた議論が活発に行われてきているが、電化など需要サイドでの低炭素化に向けた議論を深めていくことが必要である。

そこで、令和元年度の研究討論会では、2050年における低炭素社会の展望、需要サイドの将来像とそれを支える電力グリッドの位置付けに焦点をあて、実現するための課題、全体最適を目指した役割等を共有・討論して理解を深めるとともに、日本の明るい未来を展望するためのメッセージ発信を行った。

7. 刊行物（『電気協同研究』の発刊）

発刊数 4号

- ① 第75巻第1号 「水力発電所主要機器の技術提出図書記載・審査の手引き」
令和元年7月発刊、 125頁、 930部印刷
- ② 第75巻第2号 「配電業務システムの高度化による業務変革」
令和元年9月発刊、 211頁、 600部印刷

- ③ 第75巻第3号 「再生可能エネルギー電源の連系量拡大に伴う需給・系統運用上の課題と対策検討」
令和元年8月発刊、 170頁、 750部印刷
- ④ 第75巻第4号 「2050年における低炭素社会の展望と電力グリッドの役割」
令和2年3月発刊、 102頁、 440部印刷

8. 講習会

- ① 「水力発電所主要機器の技術提出図書記載・審査の手引き」講習会
開催日時 令和元年9月10日(木) 13時30分～16時30分
場 所 CIVI研修センター 秋葉原(電気街口) D203
(東京都千代田区神田須田町1-5-10)
テキスト 第75巻第1号 水力発電所主要機器の技術提出図書記載・審査の手引き
講 師 電源開発(株) 脇坂 純氏 他3名
受講者 38名(申込者数)
- ② 「再生可能エネルギー電源の連系量拡大に伴う需給・系統運用上の課題と対策検討」講習会
開催日時 第1回 令和元年9月12日(木) 13時30分～17時10分
第2回 令和元年9月19日(木) 13時30分～17時10分
第3回 令和元年9月27日(金) 13時30分～17時10分
場 所 第1回：CIVI研修センター 日本橋 N403AB会議室
(東京都中央区日本橋室町4-1-6 クアトロ室町ビル4階)
第2回：九州電力(株) 本店 電気ビル本館 地下2階6号会議室
(福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号)
第3回：東北電力(株) 本店 1階大会議室
(宮城県仙台市青葉区本町一丁目7番1号)
テキスト 第75巻第3号 再生可能エネルギー電源の連系量拡大に伴う需給・系統運用上の課題と対策検討
講 師 東京電力パワーグリッド(株) 田中 良平氏 他9名
受講者 第1回：51名(申込者数)
第2回：32名(申込者数)
第3回：57名(申込者数)
- ③ 「配電業務システムの高度化による業務変革」講習会
開催日時 第1回 令和元年10月4日(金) 13時30分～17時
第2回 令和元年10月11日(金) 13時30分～16時(短縮開催)
場 所 第1回：東桜会館 1階 集会室
(愛知県名古屋市東区東桜2-6-30)

第2回：CIVI 研修センター 日本橋 N403AB 会議室
(東京都中央区日本橋室町 4-1-6 クアトロ室町ビル 4 階)

テキスト 第 75 巻第 2 号 配電業務システムの高度化による業務変革
講師 中部電力(株) 宮崎 雄一氏、松川 芳美 氏 他 4 名
受講者 第 1 回：62 名 (申込者数)
第 2 回：44 名 (申込者数)